

様式第1号

会 議 録

会議の名称	令和6年度 所沢市要保護児童対策地域協議会 第2回 実務者会議
開催日時	令和6年11月14日(木) 13時30分～15時20分
開催場所	所沢市役所 604会議室
出席者	谷川 悠 (埼玉県所沢児童相談所 代理) 中野 克俊 (埼玉県所沢警察署) 村松 大晴 (埼玉西部消防組合) 杉田 理佳 (埼玉県狭山保健所 代理) 高橋 明美 (防衛医科大学校病院) 小穴 慎二 (西埼玉中央病院) 小林 治 (所沢市医師会) 巢瀬 賢一 (所沢市歯科医師会) 土井 和子 (埼玉県助産師会所沢地区) 柴田 さなえ (所沢市民生委員・児童委員連合会) 木村 幸子 (所沢人権擁護委員協議会所沢部会) 高橋 祐二 (所沢市社会福祉協議会) 和久津 勲 (さいたま地方法務局所沢支局) 川口 真史 (埼玉県立所沢特別支援学校) 吉川 誠 (所沢市教育委員会学校教育部学校教育課) 田中 丈仁 (所沢市立小学校長代表) 白濱 史朗 (所沢市立中学校長代表) 小川 桂子 (所沢市経営企画部企画総務課 代理) 田中 浩文 (所沢市健康推進部健康管理課) 田井 浩介 (所沢市こども未来部こども支援課) 加賀谷 春恵 (所沢市こども未来部こども福祉課) 榎本 崇義 (所沢市こども未来部青少年課) 青木 穂高 (所沢市こども未来部保育幼稚園課) 松井 優子 (所沢市こども未来部こども家庭センター)
欠席者	嶋崎 英正 (埼玉西部消防組合) 原口 広美 (青少年育成所沢市民会議) 中村 路子 (所沢市幼児教育振興協議会) 中村 啓 (所沢市教育委員会学校教育部学校教育課) 木下 浩一 (所沢市福祉部生活福祉課)
説明者の職・氏名	なし
議 題	議題 取り扱いケースの支援状況について

<p>会 議 資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所沢市要保護児童対策地域協議会 第 2 回実務者会議 次第 ・ 令和 6 年度 要保護児童対策地域協議会実務者会議進行管理部会 開催状況 ・ こども虐待による死亡事例等の検証結果等について（第 20 次報告）の 概要 ・ 第 20 次報告スライド資料 ・ 児童虐待防止啓発リーフレット 2 種類、ポケットティッシュ ・ 令和 6 年度 養育支援訪問事業導入検討ケース一覧<<非公開>> ・ 要保護児童対策地域協議会ケース進行管理台帳<<非公開>> ・ 要保護児童対策地域協議会実務者会議終了者一覧<<非公開>>
<p>担 当 部 課 名</p>	<p>こども家庭センター：美甘主幹、矢野副主幹、柚原主査、松澤主任、 金森主任、小林主任、松永保健師</p> <p>【事務局】：こども未来部 こども家庭センター こども相談担当 電話 04-2991-1824</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
美甘主幹	<p>1 開会 事務局が開会。開会に先立ち委員の変更があったため、一言ご挨拶をいただきたい。</p>
中野委員	<p>令和 6 年 9 月 18 日より着任。人事異動により、児童虐待部門に深く関わっていくこととなった。課題解決に向けて取り組んでいきたい。</p>
和久津委員	<p>令和 5 年 10 月 1 日より着任。所沢の本局には令和 5 年 4 月 1 からいる。課題解決に向けて取り組んでいきたい。</p>
松井課長	<p>2 議題 以下、議長（こども未来部こども家庭センター長）が進行。委員より以下の承認を得た。 ○本日の議題は全て個人情報を取り扱うため、非公開とする。 ○会議録は、要約方式で記録し、発言者名・答弁者名は明記する。 ○会議録は議長の承認をもって確定する。</p> <p>(1) 取扱いケースの支援状況について ※個人情報を取り扱うため非公開</p>
矢野副主幹	<p>3 その他 こども虐待による死亡事例等の検証結果等について、今年度発表された国の「第 20 次報告」の概要について説明し、動画を視聴。 本日、出席している機関の中から、企画総務課（配偶者暴力相談支援センター）及び教育センターより各所属の現状等をお話しいただきたい。</p>
小川主幹（代理）	<p>配偶者暴力相談支援センターにおいて、現状被害者の避難後加害者が亡くなったというケースは数件ある。心中ケースはなく全て病死。DV と児童虐待は密接な関係があり、それぞれの意識の不足が第 20 次報告のような事態に発展すると考えた。DV のサイクルを理解し、被害者の子どもにも適切な避難支援をするほか、加害者の精神的負担を考慮しこころの健康支援室へ情報提供をするなどが重要と考えた。 また、令和 6 年度 4 月 1 日から、困難な問題を抱える女性の支援のための法律が施行されたことに伴い、来年度は関係機関連携会議を設置したいと考えている。要対協委員を含む方々にも協力を依頼し、連携をさらに強めていけたらと思う。</p>
吉川参事	<p>「これ以上は悪化しないだろう」という希望的観測の危うさや状況見直しのタイミング、子どもの置かれている状況の正しい理解などが、第</p>

20 次報告の中で特に重要だと感じた。報告の遅れは重大な事件に発展することを念頭におき慎重に関わっていけたらと思う。

事務局から、以下の項目について、説明や報告があった。

・今年度のオレンジリボンキャンペーンについて

オレンジリボンキャンペーンは、11 月 20 日・21 日に市民ホール、22 日にこどもと福祉の未来館で実施する。また、11 月 1 日から 11 月 30 日に保健センターの一部をオレンジのライトに変更するオレンジライトアップを実施中。

・第 3 回の実務者会議について

議会の関係で正式な日程は未定。

令和 7 年 2 月 6 日（木）または 13 日（木）に、13 時 30 分～ 本庁 604 会議室で開催予定。

1 月中旬頃、開催通知を発送予定。

4 閉会

事務局が閉会